



## ユーザの挿入

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、ユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する方法について説明します。



(注) この機能では、UTF-8エンコーディング形式で保存されたカスタムファイルのみがサポートされます。

- [Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザの挿入関連のトピック \(3 ページ\)](#)

## Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入

CSV データファイルを使用して、ユーザのグループを Unified Communications Manager データベースに追加できます。ユーザを挿入する目的で CSV ファイルに入力したフィールド値は、ユーザ テンプレートに入力された値よりも優先されます。



**注目** クレデンシャル ポリシーで [単純すぎるパスワードの確認 (check for trivial password)] 「」が有効になっており、しかもユーザ テンプレート内のパスワードがユーザ ID である場合、単純すぎるパスワードに関する基準をユーザ ID が満たしていなければ、BAT を使ったユーザ挿入が失敗することがあります。

管理対象デバイスとしてどのデバイスも選択されないまま、プライマリエクステンションが設定された状態で、BAT を使用してユーザを挿入できます。それには、BAT を使用してユーザを挿入する前に、Unified Communications Manager で DN を定義しておく必要があります。DN を事前に設定する手順の概要は、次のとおりです。

1. DN ページで、ユーザのプライマリ内線番号に関連付ける DN の範囲を作成します。

2. プライマリ エクステンションが設定された BAT テンプレートを作成します（同じ DN の事前設定）。
3. 次の手順に示すように、BAT を使用してユーザを挿入します。

### 始める前に

ユーザ名、制御するデバイスの名前、および電話番号が格納されている、UTF-8 符号化形式で保存された CSV データファイルが必要です。次のいずれかの方法を使用して、CSV データファイルを作成できます。

- CSV 形式に変換される BAT スプレッドシート
- ユーザ データのエクスポート ファイルを生成するエクスポート ユーティリティ



- (注) エクスポート済み BAT ファイルを使ってユーザを挿入するとき、複数ファイルにエクスポートされたユーザに関して、[ユーザIDはすでに存在します (User ID already exists)] 「」というエラーが表示されることがあります。たとえば、最初の回線マネージャのリストとユーザのリストの両方に、同じマネージャ ユーザ ID が含まれている場合です。

### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの挿入 (Insert Users)] の順に選択します。

**ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この一括トランザクション用に作成した CSV データファイルを選択します。

**ステップ 3** エクスポートユーティリティを使って CSV データファイルを作成した場合は、[ユーザのエクスポートで作成されたファイル (File created with Export Users)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] ドロップダウンリストから、この挿入で使用するユーザ テンプレートを選択します。

- (注) ユーザープロファイル、制御するデバイスの名前、およびディレクトリ番号が、Unified Communications Manager データベースに存在している必要があります。管理対象デバイス名の全体を入力する必要があります。デバイス名に MAC アドレスが含まれていない場合は、デバイスが存在しないことを示すエラーが BAT に表示されます。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 6** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) ユーザ レコードをすぐに挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) ユーザ レコードを後で挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

- ステップ7** ユーザレコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

---

#### 関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [ユーザの挿入関連のトピック \(3 ページ\)](#)

## ユーザの挿入関連のトピック

- [新しい BAT ユーザ テンプレートの作成](#)
- [BAT ユーザ テンプレートのフィールドの説明](#)
- [Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入 \(1 ページ\)](#)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。